

# 小論文の書き方の基本

論作文指導 第1回

# 1 作文と 小論文の違い

「作文」と「小論文」は  
どう違うのか。「百聞  
は一見に如かず」同じ  
題材で具体的に  
に比較してみよう。



## 小論文とは…

- ①ある事柄について
- ②自分の考え（意見）を
- ③他人に分かるように筋道を立てて

述べた文章である。

# 「小論文」 と 「作文」 の違いは…

- **客観的な思考**と、**理路整然とした論述**が必要である。

- 自分の考えや体験を**主観的に**述べていても、相手に伝わる内容であれば成り立つ文章である。

「小論文」には、書き手が与えられたテーマについてどのように考えているかがよく表れる。

「小論文」は、考え方と主張の展開にポイントがある。

「小論文」がどのような文章なのかを知ったうえで練習を積みめば、「小論文」を恐れることはなくなる。

# 作文と小論文の違いの具体例

## 課題① 「高齢社会について」

バ	ス	で	老	人	に	席	を	譲	っ	て	い	る	人	を	見	ま	し	た	。
こ	う	い	う	人	が	増	え	て	、	高	齢	者	が	暮	ら	し	や	す	い
社	会	に	な	る	と	思	い	ま	す	。	一	人	一	人	の	思			
い	や	り	が	大	切	な	の	で	す	。									

作文

# 作文と小論文の違いの具体例

## 課題① 「高齢社会について」

核	家	族	化	が	進	み	、	一	人	暮	ら	し	の	高	齢	者	が	増	
え	て	い	る	。	ボ	ラ	ン	テ	ィ	ア	を	増	や	す	な	ど	、	高	齢
者	が	安	心	し	て	生	活	上	の	環	境	を	作	る	こ	と	が	大	
切	で	あ	る	。	ま	た	、	高	齢	者	自	身	が	生	き	が	い	を	も
て	る	よ	う	な	精	神	面	で	の	ケ	ア	も	必	要	に	な	っ	て	く
る	。																		

小論文

# 作文

バスで老人に席を譲っている人を見ました。  
こういう人が増えて、高齢者が暮らしやすい  
社会になるといいと思います。一人一人の思  
いやりが大切なのです。

違いは

課題① 「高齢社会について」

核家族化が進み、一人暮らしの高齢者が増  
えている。ボランティアを増やすなど、高齢  
者が安心して生活できる環境を作ることが大  
切である。また、高齢者自身が生きがいをも  
てるような精神面でのケアも必要になってく  
る。

# 小論文

「作文」のほう  
は、感想文とし  
てはまとまった  
文章になっている。  
る。

「小論文」の  
ほうは、さらに、  
どのような対応  
が必要かまで  
考察している。



# 作文と小論文の違いの具体例

## 課題② 「看護師という職業について」

私	の	祖	父	が	入	院	し	た	と	き	、	看	護	師	さ	ん	は	い		
つ	も	笑	顔	で	と	て	も	よ	く	世	話	を	し	て	く	れ	ま	し	た	。
大	変	な	仕	事	だ	け	れ	ど	、	や	り	が	い	の	あ	る	仕	事	だ	
と	思	い	ま	す	。															

作文

# 作文と小論文の違いの具体例

## 課題② 「看護師という職業について」

看	護	師	の	仕	事	は	、	夜	勤	も	あ	り	、	重	労	働	の	上	
に	給	料	が	安	い	と	言	わ	れ	て	い	る	。	そ	の	た	め	、	な
る	人	が	少	な	く	、	さ	ら	に	労	働	環	境	が	悪	化	す	る	と
い	う	悪	循	環	に	な	っ	て	い	る	。	労	働	条	件	、	社	会	的
地	位	の	向	上	な	ど	、	看	護	師	と	い	う	職	業	を	取	り	巻
く	状	況	の	早	急	な	改	善	が	望	ま	れ	る	。					

小論文

# 作文

私の祖父が入院したとき、看護師さんはいつも笑顔でとてもよく世話をしてくれました。大変な仕事だけれど、やりがいのある仕事だと思います。

違いは

課題②「看護師という職業について」

看護師の仕事は、夜勤もあり、重労働の上  
に給料が安いと言われている。そのため、な  
る人が少なく、さらに労働環境が悪化すると  
いう悪循環になっている。労働条件、社会的  
地位の向上など、看護師という職業を取り巻  
く状況の早急な改善が望まれる。

# 小論文

「作文」のほうは、感想文にとどまり、そこからの問題提起はない。

「小論文」のほうは、看護師という職業の抱える問題点の考察や改善案の提示までなされている。

# 2 小論文とは どのような文章か

「小論文」は考えを筋道立てて述べた文章だ。実際の小論文で、考えや筋道がどのように示されているか見てみよう。



例文から書き手の意見や筋道がどのように示されているか探してみよう。

## 例文

日本では少子化の現象が進行している。少ない労働人口で多くの高齢者を支える時代が迫っている。少子化に歯止めをかけるためには、子育てを支える社会の仕組みを作ることが重要である。

核家族化が進むとともに、男女共同参画社会の実現により、女性が結婚後も働く機会が増加している。女性が子育てに専念してきたかつてとは、考え方も社会の仕組みも大きく変わってきたのである。そうした状況の中では、子育てを支援する仕組みがなければ、子どもを設け育てることが難しいと考えられる。

日本では少子化の現象が進行している。少ない労働人口で多くの高齢者を支える時代が迫っている。少子化に歯止めをかけるためには、子育てを支える社会の仕組みを作ることが重要である。

特定の立場にとらわれず、物事を見たり考えたりするさま

理屈にかなうように物事を行うさま

客観的な **意見（主題）** を述べて、**根拠（理由）** を筋道立てて示し、書き手の意見を裏付けていくように構成されている。

## 意見（主題）とは

小論文で示される意見は、ものごとのあり方や好ましい姿について述べられている。

「～べきだ」「～求められる」「～重要だ」などの**文末表現**から、意見が見つかる。

## 根拠（理由）とは

根拠は、読み手に対し、自分の意見が正しいことを証明するために書かれる。

**意見に関連した内容**で、事実が筋道立てて述べられている箇所に注目しよう。

## 意見（主題）

日本では少子化の現象が進行している。少ない労働人口で多くの高齢者を支える時代が迫っている。少子化に歯止めをかけるためには、子育てを支える社会の仕組みを作ることが重要である。

核家族化が進むとともに、男女共同参画社会の実現により、女性が結婚後も働く機会が増加している。女性が子育てに専念してきたかつてとは、考え方も社会の仕組みも大きく変わってきたのである。そうした状況の中では、子育てを支援する仕組みがなければ、子どもを設け育てることが難しいと考えられる。

## 根拠（理由）



# 3 文章表現の ルール

思いは適切に表現されてこそ、相手に伝わる。正しく相手に伝えるための表現のルールを確認しよう。



**(1) 読み手を意識しよう**

**(2) 表記について**

**(3) 表現について**

# (1) 読み手を意識しよう

## 文章表現の第一歩

私たちは、誰かに何かを話すとき、相手がだれて、どんなことを話すかによって話し方を変える。書く時も同じ。「小論文」は、求められた課題に対して、自分の考えを説明する文章である。だから、**相手(読み手)が何を求めているのか**をまず考えよう。そして、**述べたいことを最もよく伝えるため**には、どのように述べればよいかを考えよう。

## (2) 表記について

### ① 丁寧な字で書いているか

- 文字の上手下手はともかく、**丁寧に書く**ことが大切。
- **読みやすい大きさ・濃さ**で、消し後もきれいにするよう心がける。

## (2) 表記について

### ②送り仮名や漢字は適切か

- ・~~×~~ 確める → ○ 確かめる
- ・~~×~~ 幼ない → ○ 幼い    ・~~×~~ 短かい → ○ 短い
- ・~~×~~ 行なう → ○ 行う    ・~~×~~ 成積 → ○ 成績
- ・~~×~~ 関心する → ○ 感心する
- ・~~×~~ 興味深々 → ○ 興味津々

日頃から辞書を引く癖をつけておく。

## (2) 表記について

### ③読点（、）の位置は正しいか

- 私は寝不足で不機嫌そうな態度の太郎とけんかをしてしまった。

## (2) 表記について

### ③読点（、）の位置は正しいか

- 私は、寝不足で不機嫌そうな態度の太郎とけんかをしてしまった。

## (2) 表記について

### ③読点（、）の位置は正しいか

○ 私は寝不足で、不機嫌そうな態度の太郎とけんかをしてしまった。

読点の位置で、誰が寝不足なのかが変わる。



## (3) 表現について

### ①主語と述語は正しく対応しているか

- 最近感じることは、大人も含め、自己中心的な人が多い。 → 多いということだ

主語と述語の係り受けが間違っていて、文がねじれている。

# (3) 表現について

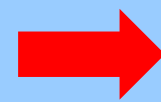
## ②修飾関係をはっきり示しているか

○ 昨日なくした時計が見つかった。

➡ 昨日の出来事は？



なくした



見つかった

「昨日なくした」「昨日見つかった」のように、「昨日」を修飾される語の直前に置く。

## (3) 表現について

### ③ 「ら」抜き言葉を使っていないか

- 子どもがピーマンを**食べれる**ように、細かく刻んで調理する。



**食べられる**

文法的に適切ではない  
「食べれる」「見れる」  
といった「ら」抜き言葉  
使わない。

## (3) 表現について

### ④文体は統一しているか

○ 彼とは親友だ。しかし、けんかも**します**。

**↓**  
**する**

一文目は「だ・である体」、  
二文目は「です・ます体」なので、  
どちらかの文体に統一させる。

## (3) 表現について

### ⑤慣用表現は正しく使っているか

- 慣用句の意味を正しく理解して、適切に使う。

# 慣用句

習慣として使われてきた  
言い回しや、ひとまと  
まりの言葉や文句

油を売る

顔が広い

ピリオドを打つ

# 慣用句

- 身近な動物や食品など人々に親しみのある言葉が組み合わせられている
- 体の一部を表す言葉が組み合わせられていることが多い
- 使い慣らされてきた言葉

□に体に関する漢字を入れ、  
慣用句を完成させよう。

① **頭**が下がる

▶感心させられる

② **顔**が広い

▶世間によく知られている

③ **手**を結ぶ

▶協力し合う

④ **目**が高い

▶すぐれたものを見分ける

⑤ **腹**を決める

▶きっぱりと覚悟する

⑥ **口**をはさむ

▶言葉をさしはさむ



□に適語を入れ**慣用句**を完成させ、  
その意味を後から選び記号で答えよう。

- ① **腕**を磨く (ウ)      ⑤ **鼻**にかける (ア)
- ② **口**が滑る (エ)
- ③ **目**がない (オ)
- ④ **肩**を並べる (イ)

ア 自慢する  
イ 力の評価が同等である  
ウ 技術や能力を向上させる  
エ うっかり秘密などをばらす  
オ 夢中になるほど好きである

□に適語を入れ**慣用句**を完成させ、  
その意味を後から選び記号で答えよう。

① **凶**に乗る (イ)

⑤ **脂**がのる (ウ)

② **我**に返る (エ)

③ **釘**をさす (ア)

④ **水**に流す (オ)

ア 前もって注意や警告をする

イ 調子に乗ってつけあがる

ウ 仕事などが調子よく捗る

エ ぼんやりしていたのが本心に戻る

オ 過去のことをなかったことにする

## (3) 表現について

### ⑥話し言葉をそのまま使っていないか

- ・私はなにげに外をながめた。 ➡ なにげなく
- ・私的には間違っている。 ➡ 私は
- ・~~×~~すごく ➡ ○ たいへん 非常に
- ・~~×~~あんまり ➡ ○ あまり
- ・~~×~~でも ➡ ○ しかし

## (3) 表現について

⑦一文の長さは読みやすいものになっているか

- 文が長くなると、主語・述語、修飾語・被修飾語の関係が分かりにくくなる。**文を短く切って**読みやすくすることが大切。めやすとして、一文は長くても40～60字程度。

# 4 原稿用紙の 使い方

「原稿用紙の使い方」が  
あやふやな人は、ここからやり  
直し。ちょっとした注意で、  
レベルアップ間違いなし。



# どこか変だぞ この原稿

1 私の心に残っている言葉は、高校に入学して  
すぐに友人がかけてくれた一言だ。とても短  
い一言だったが、私の高校生活はとても充実  
したものになった。

2 入学式の日、クラスには同じ中学校の友達が  
おらず、私はとても不安だった。お弁当の時  
も、教室移動の時も、いつも一人ぼっちで、  
学校に行きたくないこともあった。そんなこ  
ろに声をかけてくれたのが、今の私の親友だ

3 一緒に食べよう。4 この一言が、高校に  
なじめずにいた私の気持ちをほぐしてくれた  
本当に嬉しかった！ 6

2 短い言葉でも、人に力を与えることができる  
のだ。

## 1 <書き出し>

- ・書き出しは一マス空けて書く。

## 2 <段落分け>

- ・段落分けをする場合、改行し、一マス空ける。

## 3 <行頭の句読点>

- ・句読点は行頭には置かない。前の行の最後のマスに文字と一緒に書く。

## 4 <かぎかっこ>

## 5 <句読点とかぎかっこ>

## 6 <記号>

# どこか変だぞ この原稿

1 私の心に残っている言葉は、高校に入学して  
すぐに友人がかけてくれた一言だ。とても短  
い一言だったが、私の高校生活はとても充実  
したものになった。

2 入学式の日、クラスには同じ中学校の友達が  
おらず、私はとても不安だった。お弁当の時  
も、教室移動の時も、いつも一人ぼっちで、  
学校に行きたくないこともあった。そんなこ  
ろに声をかけてくれたのが、今の私の親友だ

3 4と一緒に食べよう。5この一言が、高校に  
なじめずにいた私の気持ちをほぐしてくれた  
本当に短しかった！ 6

2 短い言葉でも、人に力を与えることができる  
のだ。

1 <書き出し>

2 <段落分け>

3 <行頭の句読点>

4 <かぎかっこ>

- ・ 会話文以外に、強調したい場合にも用いるが、その場合は「 」。『 』は書名か、会話文中の引用の時のみ。

5 <句読点とかぎかっこ>

- ・ 句点ととじかぎかっこが続くときには一マスにまとめる。

6 <記号>

- ・ 「？」「！」のような記号は使わない。

パワーアップ問題に  
チャレンジ！





**問1** 次のA・Bの文章は、どちらが「小論文」としてふさわしい文章でしょうか。

**答え**

**A**

現代人の食生活は乱れていると言われる。朝食をとらない人や、野菜をとらず、肉食に偏っている人もいるというが、私も、牛乳など嫌いな食べ物があるし、朝食を抜くことがある。毎日早起きをして、好き嫌いなく何でも食べるよう心がけたい。

**小論文**

**B**

現代人の食生活が乱れていると言われる。生活スタイルの変化から家庭でそろって食事をとる機会が少なくなったことや、手軽に出来る合いの食べ物が手に入ることが乱れの要因の一つと考えられる。食事のもつ意味をもう一度考え直す必要がある。

問2 次の文章の一部を書き換えて、「小論文」としてふさわしい文章にしよう。

国	際	化	が	進	み	、	外	国	人	と	接	す	る	機	会	が	増	え	
て	い	る	。	外	国	人	と	接	し	て	い	る	と	、	相	手	の	心	が
分	か	ら	な	い	こ	と	も	あ	る	が	、	教	え	て	も	ら	う	こ	と
も	多	く	あ	り	、	と	て	も	楽	し	い	。	こ	れ	か	ら	も	、	多
く	の	外	国	人	の	友	人	を	作	り	、	い	ろ	い	ろ	な	国	の	こ
と	を	知	り	た	い	。													



**異文化理解の重要性**という観点から書き直してみよう。



**問3** 次の文章で「意見」と「根拠」は何だろうか。書き出してみましょう。

インターネットが人々の間に急速に普及してきた。インターネットは便利であるが、その利用にあたっては、インターネットのもつ弱点に十分留意することが大切である。

インターネット上には様々な情報があるが、だれが、どのような目的で公開しているのか分からない情報も多くある。中には間違った情報や悪意をもった情報もある。

また、インターネットに接続するということは、手元のパソコンの情報が、ネットを通して全世界に流出する危険を背負うということである。自分の情報が他人に知られる危険性もはらんでいる。

**問3** 次の文章で「意見」と「根拠」は何だろうか。本文から書き出してみよう。

①「意見」は何だろう。

大切である。

②意見を裏付ける「根拠」は何だろう。2つ書かれています。

・インターネット上の情報の中には

もある。

危険性もはらんでいる。

**問3** 次の文章で「意見」と「根拠」は何だろうか。書き出してみましよう。

**答え**

①「意見」は何だろう。

インターネットの利用にあたっては、インターネットのもつ弱点に十分留意することが大切である。 大切である。

②意見を裏付ける「根拠」は何だろう。2つ書かれています。

・インターネット上の情報の中には間違った情報や悪意をもった情報もある。 もある。

・自分の情報が他人に知らされる危険性もはらんでいる。

問4 文章表現のルールに従って、正しい表現に直しましょう。

①漢字と仮名遣いの誤りを正しく書き直そう。

※誤りは3つあります。

後の人々が指摘するとうり、経済政策のつまづきが、国家存亡の危機をまねく始りだと言えよう。

答え

× とうり → ○ とおり

× つまづき → ○ つまずき

× 始り → ○ 始まり

**問5** 文章表現のルールに従って、正しい表現に直しましょう。

**②適切な位置に句読点を打とう。**

**※句点は1つ、読点は3つ打ちます。**

経済協力開発機構が2006年に57カ国・地域で実施した「生徒の学習到達調査」(PISA)で日本の高校1年生は読解力の順位が15位、数学的な活用力の順位が10位であった



問5 文章表現のルールに従って、正しい表現に直しましょう。

②適切な位置に句読点を打とう。

**答え**

**※句点は1つ、読点は3つ打ちます。**

経済協力開発機構が2006年に57カ国・地域で実施した「生徒の学習到達調査」(PISA)で、日本の高校1年生は、読解力の順位が15位、数学的な活用力の順位が10位であった。

**問6** 次の文の誤りを見つけて、適切な文に書き直そう。

①私の意見は、利用者の立場を重視し、現在の制度を見直したいと思います。

②澄んだ、瞳のきれいな彼女の吹くフルートの音色は、秋空に果てしなく響いていた。

答え

問6 次の文の誤りを見つけて、適切な文に書き直そう。

①私の意見は、利用者の立場を重視し、現在の制度を見直したいと思います。

私の意見は、利用者の立場を重視し、現在の制度を見直すというものです。

②澄んだ、瞳のきれいな彼女の吹くフルートの音色は、秋空に果てしなく響いていた。

瞳のきれいな彼女の吹くフルートの澄んだ音色は、秋空に果てしなく響いていた。

**問6** 次の文の誤りを見つけて、適切な文に書き直そう。

③ 予定の仕事がやっと終わったので、今から寝れる。

④ 私は常に、学生っぽい身だしなみや言動を心がけている。

**問6** 次の文の誤りを見つけて、適切な文に書き直そう。

**答え**

③ 予定の仕事がやっと終わったので、今から寝れる。

予定の仕事がやっと終わったので、今から寝られる。

④ 私は常に、学生っぽい身だしなみや言動を心がけてる。

私は常に、学生らしい身だしなみや言動を心がけている。

# 小論文の書き方の基本

論作文指導 第1回